

■ The JIMMIN SHIMBUN
■ 1-11-19 2F
■ Nishi-Awaji, Higashi-
■ Yodogawa-Ku, Osaka, Japan.
■ TEL 06-815-1689

■ Subscription:
■ One year 10,000Yen
■ (include air mail
■ postage)

人民新聞

1995年 1月5日 通巻868号

1968年12月12日 第三種郵便物認可 5.15.25日発行

発行所 人民新聞社

1部150円 購読料半年間3000円

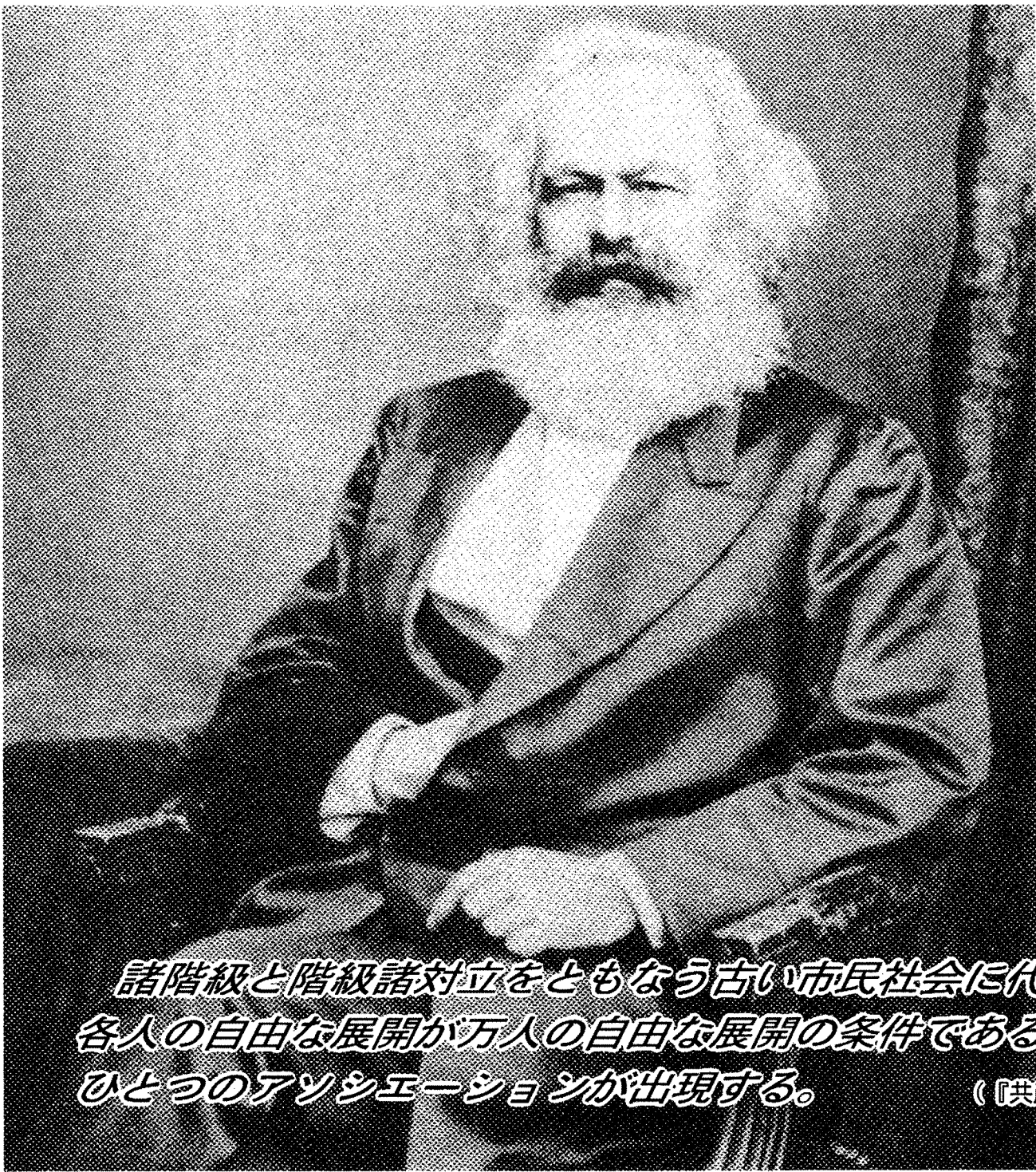
本社 大阪市東淀川区西淡路1-11-19 2F
TEL(06)815-1689 Fax(06)815-2496

振替口座00950-4-88555

東京多摩支局 立川市柴崎町3-6-3 風林舎内

一九九五年一月

新たな未来社会の構築へ



諸階級と階級諸対立をともしなう古い市民社会に代わって
各人の自由な展開が万人の自由な展開の条件であるような
ひとつのアソシエーションが出現する。(『共産党宣言』)

(カール・マルクス 1975年)

新聞「新左翼」が「人民新聞」と改名したのは、一九七六年四月。人民新聞第一号の一面下のコラム「火焔ビン」には(老)氏の一文が掲載されている▼「人民新聞」という名が、すぐれていいとは思わない。また名前の如何で内容がすぐ変わると思わない。闘いや運動の実体と切り離れて新聞だけがよくなる筈はない。しかし、ともすれば人民という名が建前の上でのきまり言葉や観念かのように取り扱われた傾向が、幾多の激しい個別闘争を闘い抜く中で、改めて限りなく大きく思い具体的存在として対象としてとらえ出されたことは明らかである。私達が「人民新聞」の改名を心から喜び、その新聞と若い世代の闘いの前途に確信をもつ理由はここにあり▼それから二〇年近くが経た。一九九五年、戦後半世紀。そして人民新聞に集まった「若者達」は、四〇代も半ばにさしかかっている▼知らず知らずのうちに、怠慢と惰性に流されてはいないか。志は高々とひるがえっているが、人民を生き生きと、心を熱くして受けとめんとしているか。そして、何よりも自己をラディカルに批判しうる思想を求め続けているだろうか▼千客万来の正月も終り、一人自省の年頭。砲火のチェチェン、パレスチナ、極寒の朝鮮、東欧、そして獄中のまだ見ぬ戦士達に、世界人民の勝利に向け新年のあいさつを送る。(M)



新年会である百姓と酒をくみかわした。正月をどうして過ごしたかという話題になったとき、彼は、ビデオを借りてきて二日間ぶっとおして一〇本以上、見続けたという。ふだん映画館に足を運ぶ余裕もなく、一年に一回くらいこういう贅沢もいんではないか、という▼嫁さんと二人で見た中で、一番よかったのは『シンドラーのリスト』だった。ユダヤ人監督による、ナチスドイツのユダヤ人虐殺と闘った人の物語だ。最初の方は、こんな残酷な映画はドイツ人に見せておけないと思っただが、終わってみて感動した。嫁さんは、黙って泣いていた▼「わしは、絶対に戦争はしたらいかんと思う。だけど未だにそこらじゅうで、戦争をやっている。止める力がないのが問題だ。どうしたら止められるんかのう」。カラオケが盛り上がりつつある中で、なぜ日本を告発するビデオが出回っていないのかと思う▼正月の過ごし方はいろいろあっている。しかし、社会党の首相が伊勢神宮参拝とはなにごとだ。戦後民主主義に育ったこの夫婦の過ごし方とあまりにかけ離れている▼健康なトマトづくりに打ち込んできた百姓が、戦争を止めさせる力がほしいという。あいまいな日本ばかりではないのだ。はっきり言うべきは言い、今年も地べたで汗を流そう。(I)

今年の私の年賀状に、「憲法を空洞化した戦後民主主義とは何だったのか。大先達の遺言は『言葉だけの民主主義』と云い、大江健三郎は『あまいな日本』と表現した。私には『錯誤の日本』としか言いようがない」と書いた▼錯誤は、昭和天皇の戦争責任を免罪した占領アメリカ軍との戦略的妥協にはじまる。以来、戦争責任は「軍部の犯罪」(東京裁判)として、国家間の経済賠償で処理され、これで日本の戦後処理は終わった、と考えた▼天皇の戦争責任が免罪され、その天皇を国の象徴とした新憲法を戦後民主主義の出発点とした▼また、憲法第九条で戦争を放棄したはずの日本が「軍隊」(自衛隊)を持った。軍事費を抑え「経済大国」になったから平和国家だ、と思った。朝鮮戦争、ベトナム戦争でもうけ、湾岸戦争では九〇億ドルを負担した▼さらに今度は、戦争で血を流さないと国際貢献ではない、と言いだした。これを「普通の国家」という政治家や国民が多数派となった。そして自衛隊は武器を持って海外に出ていった▼自衛隊を合憲とし、それでも憲法九条を守れば戦争を防げると思うのは、最大の錯誤である。それは、憲法を守ることが平和を守ることだと錯誤した戦後民主主義の延長である。「錯誤の日本」のツケは大きい。(F)

田畑 稔

季報
『唯物論研究』
編集長

をめぐる討論のために

マルクスへ再読を通して
マルクスを現代へと超える

本日は『マルクスとア
ソシエーション』（19
す。

94年、新泉社）の研究会にお招きいただき有難うございます。幸い、この本に対して、賛否両論、沢山の感想、批評をいただいております。具体的には後で紹介することとして、それら感想、批評の中で提出されてい

私は、自己批判の意味を込めて、この十数年、「世界という書物」を直接自分の目で読み直す作業と平行して、マルクスを再読作業を続けてまいりました。この本はその第一冊として書かれたものです。

冷戦体制の崩壊以降、「マルクス主義は終わった」との大合唱が日本でも巻き起こり、現在も左翼運動の混沌に大きな影を落として続けている。人民新聞社では昨年、田畑稔（季報『唯物論研究』編集長）さんの『マルクスとアソシエーション』発刊を機に、田畑さんを招き学習会を持った。「マルクス主義と社会主義の再生」へ向け、新年号で、学習会での報告を基に、田畑さんに問題提起をお願いした。

ナティブVとして再読する形で、ハマルクス像の形で、ハマルクス像の
変革Vを遂行しつつ、現代に我々が営んでいる現代
の生活世界に向かってマ

後退期
「モラルの
の問題」

ソ連東欧のいわゆる社会主義国家群の解体過程は、完了したというより、現在なお行きつ戻りつ的過程、一種の迷走状態にあると見るべきでしょう。しかし十月革命時にはじまる歴史的挑戦が八〇年弱の実践と曲折の末に挫折したということは、体制そのものの崩壊によって誰の目にも明らか

ルクスを超えよう。これが私の再読の姿勢なのです。

こういう姿勢に対しては、本丸まで防禦線を後退させただけの保守派マルクス主義であるとか、逆にエンゲルスやレーニンやその他のマルクス主義の諸形態の歴史的意味を抹殺する清算論だとか、現在の問題意識を何でもかでもマルクスの中

かになったわけです。ソ

連モデルで未来を構想しながら自分の人生の大半を闘争にかけてきた旧左翼にとってこの事態はまさに痛恨事であったでしょうし、スターリニズム体制の内在的変革の可能性を唱え続けてきた新左翼にとっても厳しい現実の展開であったと思われます。

誤解が可能でしょう。

マルクス解釈の当否をめぐる論争は私自身大いに望むところであります、もし私の側に誤読や一面化があれば、訂正するのが義務であるのは言えます。この乖離は埋め

期には色々な問題に直面しながらも、運動の「勢い」とか、「拡大」しているという「事実」で「ごまかして済ますことができる。しかしそういう「ごまかし」が溜まりに溜まって今日の危機がある。」と、我々のように、この瞬間になお社会主義の解放の意味を問いつけるものを持っている、可能性があり、「財産」があると考えるべきでしよう。

るわけです。逆に言えば
もはや「ごまかし」や
「間に合わせ」や「事な
かれ主義」で済ますこと
ができない状況に置かれ
ては、日本農業の危機とよく
言われますが、農業人口
が少なくなったというこ
とそれ自身が危機なので
はないでしょう。「農者

抹消された 「ソシエーション」 論

さてそこで「アソシエーション」に焦点を当ててマルクスを一から読み直してみようとした。『共産党宣言』に

「諸階級と階級諸対立をともなう古い市民社会に代わって、各人の自由な展開が万人の自由な展開の条件であるような、ひとつのアソシエーションが出現する」と書いてゐるのは皆さん

られないまま、マルクスもマルクス主義も「死せる犬」になってしまうのでしょうか。

「農」が内面的価値崩壊
 是貴人」というモラル
 (士氣)が失われ、

を起こしていることこそが本當の危機なのです。この点、今日の左翼はどんなのでしょか。おそらく、今問わねばならないのは規模の大小、展望の明暗よりも前に、ハモラルの高さの確保の問題ではないでしょうか。

ソシエティッドな労働」とをともに「結合労働」と訳して、肝心の要の區別ができていない。あるいは『資本論』第三巻に出てくる「アソシエティッドな知性」という注目すべきマルクスの表現も、エンゲルスの加筆で本来の意味が見えなくなってしまうている。つまり「アソシエーション」はハ概念としての統一性Vを全く失って、大袈裟に言えば事実上抹消され続けてきたことに気がついたのです。

一つだけ具体的に見ておきましょう。マルクスでは資本という物件の権力によって「コンバインされた」労働者たちが、危機と闘争を通して政治的モラル的に成長を遂

「アソシエー
ション」論的
展開へ

今日我々は、いったん我々自身が日々営んでいる生活世界のダイナミズムに目を転じ、目を凝らし聞き耳を立てて、自分たちに自身の生活世界にこつての「社会主義」「共産主義」の解放的意

味を納得するまでトコ
トコ考え直すというところから再出発することをお願いされていよう

に思えます。今日の社会が孕むディストラクティ
ブ（解体的）な諸傾向を
確認するだけで自足して

る、未来社会を構築する
り、自己統治能力を展開
て、単に「コンバイン
な労働」を「アソシエ
テッドな労働」に主体
的に転化していく過程と
して、解放過程が構想さ
れている。だから「コン
バインドな労働」と「ア
ソシエテッドな労働」
を両方「結合労働」と訳
してしまふということ
は、肝心の要が区別でき
ていないと言ふことであ
る。残念ながら「アソシ
エーション」がマルクス
の中心概念として位置づ
けられていなかったこと
を、象徴的に示している
わけです。

一体なぜこういうこと
になったのか。それはハ
ンツマンという行為の特質
にかかわっていると言え
てでしょう。マルクス死

プロダクティヴな運動としての側面にもう一度注意を向け直す。そういう時に、私の考えでは、きつと「アソシエーション」問題が大きくクロージング・アップしてくると思ふのです。なぜならマルクスにおいて「アソシエーション」は、未来へと前進する運動のポジティヴでプロダクティヴな側面を集中的に表現しているからです。

「アソシエーション論的転回」こそが、今日「社会主義の再生」を語る場合の、核心的な内容なしているに違いない。これが私がこの本を書いた際の背景的問題意識に他なりません。

後、社会主義ないし共産主義の主導的方向が「国家」集権主義の性格を濃厚にもち続けました。早い話、編者も訳者も読者もソ連をモデルに、そういう関心でマルクスをへ読もうとしてきた。その結果「アソシエーション」概念は、へ読みひながらへ読めひないまま、陰にへ隠れてひしまったということでしょう。

逆に言う和我々が「アソシエーション」に焦点をあててへ読めるひようになったのは、我々自身の側に、マルクスをへ読む際の関心や問題意識における大きなへ移動ひが生じたということです。

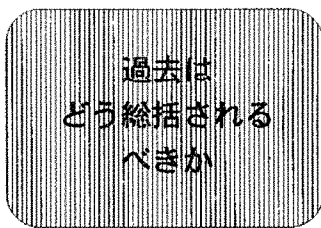
(3面へつづく)

(3) 面へつづく



マルクス「アソシエーション」論

以下、文献的な細部論議は避け、マルクス「アソシエーション」論を現代的に展開する方向で、どんな可能性があり、どんな課題が残されているか、私なりの考えを述べ、皆さんの意見をうかがいたいと思います。



過去は
どう
総括
される
べきか

まず「前に」進むには「過去」の総括が不可欠です。マルクスのアソシエーション視点に立て



パリ・コミューンの宣言 (1871年)

ば、大枠で見て次のような総括軸が浮かび上がってくるでしょう。資本制生産は人類史上、細分された「個別的労働」を「コンパインドな社会

成されるべきかという問題に人類を直面させることになりました。マルクスの解放論的展望は、資本という私的物性の権力によって「束ね」られた労働者たちが危機と闘争を通して、単に「コンパインドな労働」を「アソシエーティッドな労働」に主体的に転換させていく過程として構想されたのです。

しかしこのようなモデルが有効なのは西欧諸国に限定されると晩年のマルクスは考えました(ザスリッチへの手紙)。日本など周辺部、半周辺部では資本という私的権力の形成が不十分で、公権力がまず前面に出て集権的国家体制を構築し、

その権力で「コンパインドな労働」への人類史的転換を強行して、先進国に「キャッチ・アップ」しようとする。おなじように「資本論に反する革命」(グラムシ)であったボルシェビキ革命も「歴史的順序の変更」(レーニン)を余儀なくされることになりました。レーニン死後ソヴェト権力自身が、基本的には農民からの収奪と「上からの工業化」、それに「新しいカールドル層」の上からの形成によって、この人類史的課題に答えようとする方向に進んだ。国家権力によるこの強制的移行の成功はスターリン体制の主たる歴史的正当化根拠をなしたわけ

の事実上の不在を含めて、「ソ連型社会主義」において、下からのアソシエーション過程は国家集権主義と一党支配という厚い壁により形骸化され、押し潰されてしまったわけです。

個別的労働を権力によって「束ね」られた社会的労働へと、さらに後者を「アソシエーティッドな労働」へと、転換させていくという人類史的課題を見据えること、それだけでなくこの過程が中心部、半周辺部、周辺部で取る形態の差異をしっかりと視野に収めておくこと、これが今後将来展望を語る際に不可欠であると思います。

アソシエーション過程の中心に生産流通組織のアソシエーション化があることはいうまでもありません。

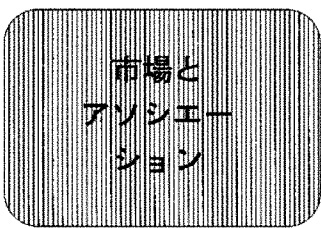
マルクスは協同組合が個別経営単位の内部ですすでに階級対立を克服しているものとして注目しました。多くの形態があり、多くの問題をかかえているとはいえず、また今のところこれは周辺の経営組織にとどまっているにせよ、生産者・消費者のアソシエーションとしての形態の萌芽としても実践的意味は大きい。

今日「株式会社」として、つまり私的資本の権力関係を再生産してい

る。「会社主義」の危機もある。だから「労働の人間化」とか「自由にものが言える会社」とか「やり甲斐のある仕事場」とか「会社は少なくとも反社会的であってはならない」といった、労働者やサラリーマンが自身自身の言葉で「会社」を乗り越えようとするプロセスにもっと耳を傾け、彼らと一体どんな言葉を共有できるのかを真剣に考えることから出発しなければなりません。

次にアソシエーション視点から社会的調整を考

る場合、先ずは市場が計画かという択一をやめるべきだと思います。マルクスが立てている社会的調整原理は「現存の欲求の総体に対する生産諸力の関係を基礎とする一つの合意」(『哲学



市場と
アソシエーション

「会社主義」の危機とアソシエーション

マルクスは協同組合が個別経営単位の内部ですすでに階級対立を克服しているものとして注目しました。多くの形態があり、多くの問題をかかえているとはいえず、また今のところこれは周辺の経営組織にとどまっているにせよ、生産者・消費者のアソシエーションとしての形態の萌芽としても実践的意味は大きい。

今日「株式会社」として、つまり私的資本の権力関係を再生産してい

る。「会社主義」の危機もある。だから「労働の人間化」とか「自由にものが言える会社」とか「やり甲斐のある仕事場」とか「会社は少なくとも反社会的であってはならない」といった、労働者やサラリーマンが自身自身の言葉で「会社」を乗り越えようとするプロセスにもっと耳を傾け、彼らと一体どんな言葉を共有できるのかを真剣に考えることから出発しなければなりません。

次にアソシエーション視点から社会的調整を考

る場合、先ずは市場が計画かという択一をやめるべきだと思います。マルクスが立てている社会的調整原理は「現存の欲求の総体に対する生産諸力の関係を基礎とする一つの合意」(『哲学

「会社主義」の危機とアソシエーション



(4面下段につづく)



マルクスとアソシエーション

●マルクス再読の試み 46判 2575円

唯物論哲学入門 (新装) 森信成著 「大阪労働講座」での講義録を編集した本書は、宗教的・政治的・経済的・倫理的等の諸論からアソシエーション・民主主義の問題、弁証法についての考察など、唯物論の原則を明確に説明した平易な入門書である。 46判 1339円

生命系を求めて 環境経済論 池本廣希著 市場競争、資源収奪を前提とした経済学を批判し、食と健康を第一とした経済学を提起。農業・漁業の生産から有機農業への転換、国際分業論による国際食料貿易から主要農産物の自給への転換を主張する。 46判 2369円

有機農業の可能性 本野一郎著 有機農業を広めるためにはどうしたらよいか、生産者グループと消費者グループをつくらせた「食と健康」をテーマに語り、アジアとアメリカの現状を紹介する。 46判 2060円

大阪お笑い学 持田寿一著 なにわ雑談誌①② 46判 2575円

大阪お芝居学 吉本興業が東京・銀座に劇場を作り、ついに花のお江戸も制覇か! 大阪大衆芸能のおもしろさとパワーの秘密を語り、大阪雑談の世界を一望する一大パノラマを! 2884円

新泉社

東京都文京区本郷2-15-12 電話(03)3815-1166 2 振替00170・4・160936

経営の不正を追及し続ける

大阪・関大生協
労働組合

冬期一時金に際して、十二月二七日、地労委に提訴しました(一時金は十二月二四日に支給)。経営は組合の力を弱めようと、この間二〇人以上の新規採用、労働者の配転、就業規則の改悪、労働者の役職化(脱退工作)を続けています。私達はあくまでも経営の不正を追及し労働者の権利を守り続ける決意でいます。今後とも支援、注目をよろしくお願い致します。

公共料金値上げ 反対の闘いを

宮城・電気通信産業労働組合

NTTは、料金値上げをしようとしています。NTT料金値上げ反対、消費税値上げ反対、公共料金値上げ反対の闘いを進めましょう。

そんな日本どこへ行く

大阪・K

新春ひとり言
ウヤムヤに、あいまいに、無責任に後始末せず、約束ことはスッポカシ、責めを負うことには無造作に、他人のせいだと転化する。

「元氣になれ そう」な記事

大阪・I

「吹田事件」の様子を新聞で読んでいました。今では家ばかりの待望山に、あんなに多くの人達が集まった時の様子など想像できないなと思っていました。朝日新聞で「吹田事件」を担当されていた当時判事だった今中五逸氏が亡くなられた記事を読み、改めて、当時の朝鮮の人たちの祖国に対する思いや、当時



天皇の侵略責任を問いつける

和歌山・宮森幹雄

い年月のしきたりで、元旦が来ると、近所の人や、隣組の人に逢うと、必ずお目出度うございませう、今年もよろしくお願ひしますと挨拶する。このお正月の挨拶には理屈はないですね。名刺を貰ってある人とか、知人、友人、親類関係等、年内に調べて、昨今では正月にポストへ投函するのでなく、二月二〇日頃までに郵便局へ持参すれば、元旦の朝、各戸へ配達してくれる、なかなか便利になったものです。

暫定自治区はメチャクチャ

神奈川・アフリカアラブインフォメーション

昨年色々お手数をかけました。今年もよろしくお願ひいたします。相交わらず暫定自治区はメチャクチャです。我々の家も片つかないまま年を越しました。

九五年は正に正念場

東京・山野さんを支える会 事務局一同

一九九五年は、山野と「支える会」にとりましては、正しく正念場になると心得ます。悔いを残すことのないように、山野と事務局一同は全力を尽くして頑張る所存です。あなた様の御多幸と御健康が末永く恵まれますことと、私達との絆が更に深まりますように心よりお祈り申し上げます。

危険な再販制 見直しの動き

東京・新泉社

著作物(書籍・雑誌・新聞・レコード・音楽用

編集一言

と餅が並べられ、いつもとは違って正月らしいほんわかとした雰囲気。三角公園では炊き出しに数千人が列を作り、入口近くではバクチに人だかりができています。公園から出ようとしたら、四〇分くらい男の人が口から血を吐きケイレンを起こしている。体が凍ってしまった。(Y・Y) *昼時の食堂で中年労働者の一群。正月のテレビはパカ騒ぎばかり、どうなっているのかね。箱根駅伝だけ観てあとは寝正月。全く同感。 *心臓疾患の末っ子を八人の子供を育てる一家のドキュメンタリーは面白かった。 *正月一日に金ヶ崎へ行ってみた。センターから三角公園までの金ヶ崎のメインストリートでは、屋台にお飾り行ってみようか? (T) *八%の上昇と物価の優等生といえます。また年間発行点数が毎年上昇し、昨年は約五万点。読者に利益と自由な選択を提供しています。さらに、民主主義の基礎である少数意見を反映した書

『理想路線』を頑固に

東海・丸岡修

現情に屈するのが「理想路線」なら、私は「理想路線」を頑固に歩みます。現情を否定し、人が人として人らしく共に生きる社会を目指し、この負の時代だからこそ頑張りねば。いつも新聞の送付をありがたうございませう。共に!

カンパに協力 ありがとうございます

- *大阪T二千元*大阪T一万円*東京I四千元*
- *大阪K五千元*大阪Y七千元*大阪O七千元*
- *大阪S七千元*大阪N五千元*
- *大阪S二千元*大阪K三千元*大阪N五千元*
- *大阪T一万円*奈良N四万円*大阪I一万二千元*
- *京都I一万円*大阪O五千元*兵庫T三万円*
- *大阪E二万円*大阪S五千元*大阪M七千元*
- *大阪N千円*大阪D二万円*
- *大阪K二万円*大阪六千元*
- *大阪Y六千元*大阪Y一万円*
- *大阪T三万円*
- *大阪M一万七千元*
- *大阪Y二万円*大阪K一万円*
- *大阪S三万円*京都S千円*新潟O五千元*
- *兵庫H千円*京都N二千円*
- *大阪I五千円*京都T一万円*
- *大阪W一万円*
- *大阪I五千円*大阪S三千元*
- *大阪I二千円*
- *和歌山H四千円*東京K五千元*
- *兵庫K二万円*
- *大阪M二千円*埼玉N三千円*
- *東京M三千円*
- *福岡F四千円*
- *大阪S五千円*
- *兵庫K六千円*
- *大阪K一万五千円*
- *長野D二千円*
- *長野S五千円*
- *京都M一万円*
- *神奈川I二千円*
- *大阪D一万円*
- *大阪E二千円*
- *東京K七千円*
- *神奈川K三万円*
- *大阪T三万円*
- *京都N千円*
- *東京T五千円*
- *大阪S五千円(去年三月現在)
- (小計)六〇万二千四百(合計)一一四万六千九百円

運動論としてのアソシエーション

運動論としてはどうでしょう。権力や利害から比較的自由な周辺部でこそ(例えば文化サークルやボランティアでこそ)アソシエーション原理は発揮できるという周辺論的アソシエーション論や、国家にせよ市場にせよ会社にせよ家族にせよシステムはさまざま問題を抱えているのでこれをアソシエーションで補完すべきだという補完論的アソシエーション論にも、ある種の実践的有効性を認めることができます。しかし私自身は過程論的アソシエーション論の意味でアソシエーション論的展開を主張しております。アソシエーション過程は成

情報ひろば

関東

- ▼「市民の政治」全国ネット全国懇談会
- 1月14日(土)午後1時~6時/討論項目①統一地方選と市民派②「理念・政策について」中間報告の継続議論③参議院選・新政党について④今後の運営について、他/東京・文京区民セン
- 1月28日(土)午後1時半~6時/ビデオ「川崎駅前交番リンチ事件」、講演「拷問等禁止条約について」今井直

韓國反體制運動

その 3

はないでしょうか。アメリカもその力を認めざるを得なかったということです。

いう意見はありますが、それはそれとして踏まえ、た上で、全体の流れの中に見ていくことが必要です。反共教育で敵対させられてきた韓国の民衆が、主思派であれ何であれ、北朝鮮の体制を認め、受け入れなければならない

らない。共有すべきかという声を上げているというところこそ、統一の形態を示唆しています。

(おわり)

この趣旨をご理解いただき、反核燃・反原子力の力を全国から青森に寄せただけますようお願い

いいいたします。
* * *
【支援先】明日の青森県
をつくる会（青森市栄町
1-3-12 TEL 0177-
41-0410
【カンパの送り先】核燃
阻止原告団事務局（郵便

振替口座) 023001
9137486 (「選挙
カンパ」と明記して下さ
い。)

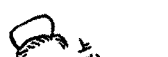
代表 高木仁三郎

この趣旨をご理解いただき、反核燃・反原子力力の力を全国から青森に寄せていただけますようお願いいたします。

* * *

【支援先】明日の青森県をつくる会（青森市栄町1-3-12 TEL 0177-41-0410）

【カンパの送り先】核燃阻止原告団事務局（郵便振替口座）02300-9-137486（「選挙カンパ」と明記して下さい。）



東北電力株式会社
福島第一原子力発電所
事故対応委員会

Handwritten signature: 王德林
